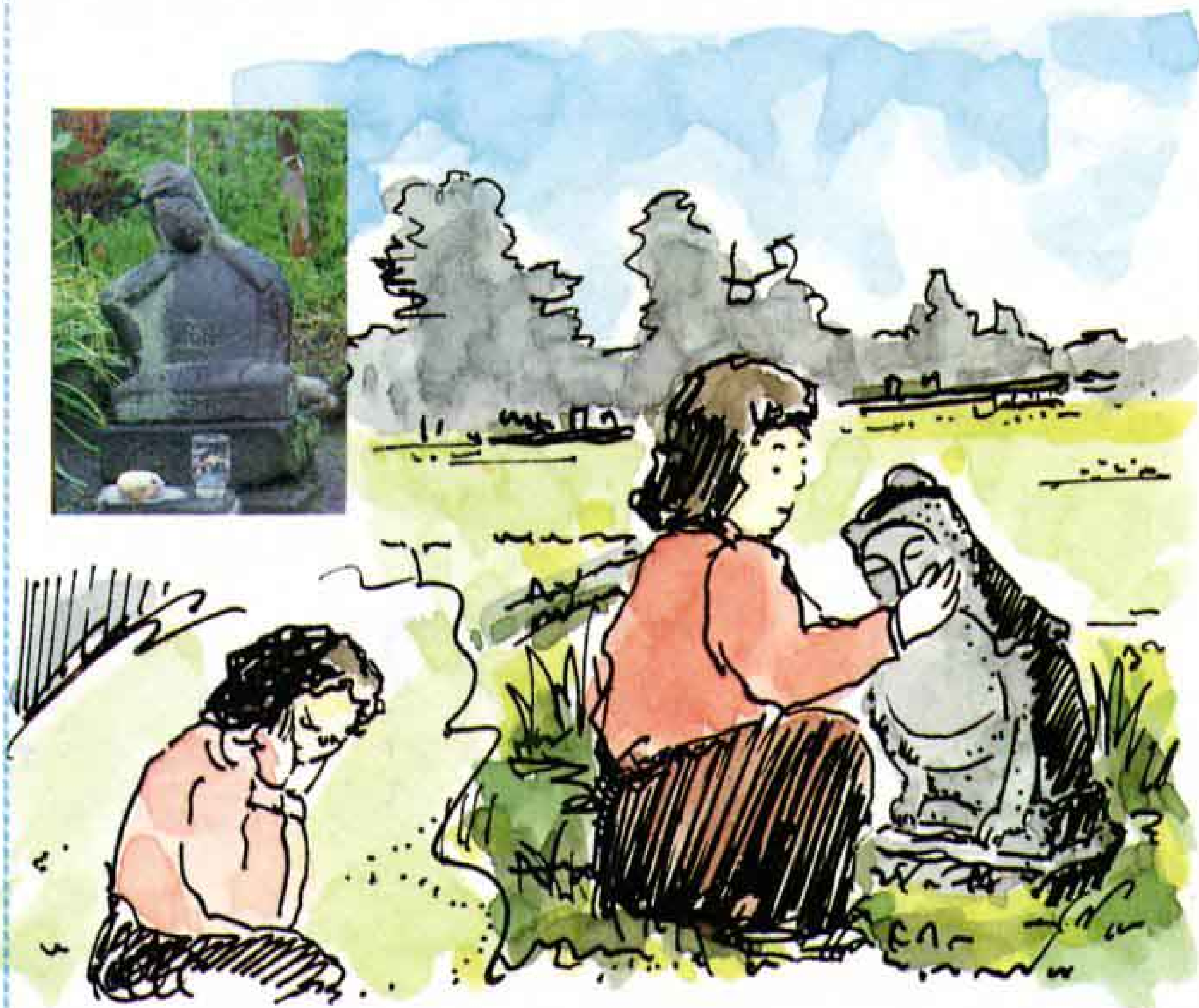


ふるさとの昔話

下川成の 歯痛を治す地蔵

下川成の畑の片隅に、行儀よく座っているお地蔵さんがあります。このお地蔵さんは、歯が痛いときご利益があるといわれます。



夢にあらわれた地蔵

昔、昔のことです。ある夜、米山さんのおじいさんは、お地蔵さんの夢を見ました。お地蔵さんは、「私は川成のあぜ道に埋まっています。どうぞ私を掘り出してください。」と言っているのです。翌朝、おじいさんはみんなに頼んであぜ道を掘ってみると、夢で見たお地蔵さんが出てきました。お地蔵さんの首は折れ、左手は途中で欠けていました。右手をほつぺに当てて痛そうな顔をしていました。みんなはお地蔵さんをきれいに洗い、首や左手を治してやりました。お地蔵さんは、とても優しい顔になりました。

歯痛を治す

あるとき、歯が痛くて困っている人が、ほつぺに手を当てながら通りかかりました。お地蔵さんがほつぺに手を当てているのを見て、「お地蔵さんも歯が痛いのですか？」

痛みを忘れる優しい顔

お地蔵さんをまつっている外山晃さん（四十九歳）は、「昔は供えた水を飲むと治るともいわれました。優しい、ふくよかなお顔を見てみると、本当に歯痛が治りそうな気がします。」と語ってくれました。



△外山晃さん

地名の由来

坂 太 源
(石 坂)



寿永三年（二公年）一月、木曾義仲追討の頼朝の軍勢が、富士川の洪水でここにたむろしました。一説では、このとき、頼朝から名馬磨墨をもらってきた梶原源太景季が、ここで馬の自慢をしたので、源太坂と呼んだと言います。

また、別の話では、源太という農民が、あるときこの坂で急死したので、いつしか源太坂と呼ぶようになったともいいます。

こちら編集室

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新市発足二十周年、また、二十一世紀へ向けての始動と記念すべき年でした。

編集室一同、ことしも

ういういしさを忘れず

さわやかに

きん河系宇宙のような広い心をもって、がんばります。

ニイハオ 你好



嘉興市

嘉興市の概況



▷嘉興市の市街地

21世紀に向けた課題の一つに、国際文化交流が上げられます。現在、富士市は中国浙江省嘉興市と友好交流を深めています。市民からも「嘉興市ってどんなところ」との声が聞かれます。

そこで、嘉興市とはどんなところか、今回からシリーズで紹介します。

嘉興市は揚子江の河口、上海の南に位置する浙江省にあります。大阪空港から上海まで飛行機で2時間15分、上海からは南西に約100%の距離です。嘉興市は市部と郊区、嘉興・平湖・海寧・海塩・桐郷の5県からなり、総面積は3,915平方%（静岡県約半分）、市部の人口は約20万人で総人口は約300万人です。

地形は平地が88%で、ほぼ平坦。海岸線は124%あります。気候は温和で、年平均気温15.5℃～15.8℃、最も暑い月（7月）は平均気温28.1℃～28.4℃、最も寒い月（1月）は平均気温2.7℃～3.3℃です。降水量は、年平均1,100～1,200%です。四季は明瞭で、気候はおおむね富士市と同じと言えます。